



若手監督官が質問にお答えします

～ 若手監督官 Q&A ～

それ

栃木

労働局

ならできますよ。



目次

それ
栃木
労働局
ならできますよ。

私たちがお答えします

- 令和4年度採用の監督官を紹介します - 2

1 監督官の業務について

- 監督官の仕事の魅力は何だと思いますか? 3
- 監督官の仕事は大変ではないのですか? 3
- 日々の業務で心掛けていることは何ですか? 4
- コミュニケーションがあまり得意ではないのですが、大丈夫でしょうか? 4
- 監督官になって良かったと思うことはなんですか? 5
- 監督官になって辛かったことはなんですか? 5
- 研修制度は充実していますか? 6
- 学生時代の経験は、仕事で役に立っていますか? 6
- 職場の雰囲気はどうか?先輩や上司は話しやすいですか? 7
- 監督指導は一人で実施するのですか? 7
- 仕事で中はどのような服装をしていますか? 7
- 仕事で車に乗ることは多いですか?運転歴は? 7

2 ワークライフバランスについて

- 普段の残業時間は何時くらいですか?休日出勤することはありますか? 8
- 有給休暇は取得しやすいですか?ちゃんと取得できていますか? 8
- 休日は何をして過ごしていますか? 9

3 福利厚生、生活環境

- どこに住んでいますか?通勤方法や通勤時間はどれくらいですか? 10
- 公務員宿舎の状況はどうか? 10

- 栃木の気候はどうか? 10
- 栃木労働局で勤務してよかったと感じたことはどんなことですか? 11
- 栃木県の生活で感じる魅力はありますか? 11

4 公務員試験、採用

- 公務員の志望動機、監督官の志望動機は何ですか? 12
- どのように受験対策をしましたか? 13
- 監督官とほかの公務員との違いは何でしょうか? 14
- 県外出身者ですが大丈夫でしょうか? 15
- 20代後半でも採用されますか? 15
- 社会人からの転職は大丈夫ですか?採用後の処遇や昇進の差はありますか? 15
- 仕事を始めるまでの間にやっておいたほうがいいことはありますか? 16
- 女性にも働きやすい職場、仕事なのでしょうか? 16

それ
栃木
労働局
ならできますよ。



私たちがお答えします

- 令和4年度採用の監督官を紹介します -

それ
栃木
労働局
ならできますよ。

松岡 穂乃実

【所属】
栃木
労働基準監督署

【出身】
埼玉県



井上 裕太郎

【所属】
栃木
労働基準監督署

【出身】
埼玉県



辻 祐哉

【所属】
宇都宮
労働基準監督署

【出身】
兵庫県



鳥羽 杏佳

【所属】
宇都宮
労働基準監督署

【出身】
群馬県



寺山 壮一

【所属】
大田原
労働基準監督署

【出身】
東京都





1 監督官の業務について

監督官の仕事の魅力は何だと思いますか？

- 労働問題で困っている労働者と使用者の手助けができることです。また、様々な業種や規模の会社に立ち入るので、様々な産業や企業を知ることができることも魅力の一つです。（辻）
- この仕事でなければ訪問することができなかつたような、多種多様な事業場に訪問できることや、今まで知らなかつた機械等について知ることになることは、魅力の一つだと感じています。（松岡）
- 臨検監督の際に様々な事業所を見ることができて幅広く知見を広げることができるほか自分の裁量をもって仕事に取り組めることも他の公務職にない魅力だと思います。（寺山）
- 普段の生活ではなかなか見ることのない、様々な現場を見ることができることです。（鳥羽）
- 事業主に対して行政指導、行政処分をする権限や、司法警察員としての身分を持っていることは魅力です。ただし、その分の責任が伴う仕事だと思います。（井上）

監督官の仕事は大変ではないのですか？

- 人と多く接する仕事ですので、様々な相手とのコミュニケーションが大変なこともありますが、非常にやりがいがあり、楽しく仕事をする事ができています。（井上）
- 法律を扱う仕事ですので自分自身が正しい知識を持つこと、また難解な制度もあることから、これを相手に分かりやすく説明することは重要であるがゆえ大変です。（辻）
- 事業主や相談者の対応に苦慮することはあります。しかし、対応に苦慮する場面を乗り越え、対応力を高めることができた時は自分自身で成長を実感できます。（寺山）
- 法令や制度、そしてそれらを理解するうえで必要な知識が多くあることや、相談を受けた際に相手に分かりやすい説明をすることなど、大変なことが沢山ありますが、少しずつ克服しており、やりがいのある仕事と思います。（松岡）
- 大変なこともあります。が、上司や先輩方のフォローも手厚く、何かと相談しやすいため、大きく困ることはないと思います。（鳥羽）





1 監督官の業務について

日々の業務で心掛けていることは何ですか？

- 職場の先輩との間で 報告・連絡・相談を確実にを行うことを意識しています。（鳥羽）
- 上司や先輩とのコミュニケーションを大事にすること、窓口や電話に積極的に対応することです。（辻）
- 労働相談では相談者の方の求めていることを把握し、的確なアドバイスができるよう心がけています。（井上）
- 相談対応の中では、相手の言っていることを漏れなく聞き取ること、相手が言葉を省略して話している事や、望んでいる事など注意を要する点については、適宜聞き返して確認することを意識しています。（松岡）
- 志は熱くあっても、冷静な対応と判断をすることを心掛けています。使用者と労働者、どちらかの考えに偏ることなく中立的な立場で物事を判断するように心がけています。（寺山）

コミュニケーションがあまり得意ではないのですが、大丈夫でしょうか？

- 相談対応、監督業務をしているうちに自然とコミュニケーション能力は向上しますので、全く心配はいりません。私自身もそれを実感しています。（井上）
- 私も相手にわかりやすく伝えることが苦手ですが、先輩方の話し方等を参考にして日々勉強しています。そのため、うまくコミュニケーションをとろうという気持ちがあれば大丈夫だと思います。（鳥羽）
- 電話や窓口で相談対応などの回数を重ねていくうちに、コミュニケーションには慣れてくるのではないかと思います。（松岡）
- 監督指導や相談対応など初対面の人と話す機会が多いですが、相手の話に耳を傾ける「傾聴」も重要だと思います。例えばこちらから話すことが苦手でも、「とりあえず聞く」ことを意識して対応することから始めてみてはどうでしょうか。（辻）
- 監督官には様々な人が採用されていると思います。無口な人でも話を聞いてまとめるのが上手な人、知識量がすごい人、様々な方がいます。仕事をする上で饒舌なことが必須ではないと思います。それぞれの強みを活かすことができる職場ですので、コミュニケーションが苦手でも大丈夫です。（寺山）





1 監督官の業務について

監督官になって良かったと思うことはなんですか？

- 相談者の方に感謝されると、監督官になって良かったと思います。（井上）
- 労働問題で困っている労働者と使用者について、手助けができることです。これは監督官ならではの良い点だと思います。（辻）
- 監督官という仕事はいろいろな世界を見ることができることから、大変面白くやりがいのある仕事だと思っています。また、労働者と使用者双方に中立的な立場に立ち、物事の解決ができた時はやりがいを感じます。有給休暇が取りやすい点も良いところだと思います。（寺山）
- 庁内業務と、監督指導などの庁外業務が程よくあるため、内勤と外勤のバランスが取れているように感じています。（松岡）
- 自分がこれまで知らなかった幅広い分野の知識に触れられることだと思います。（鳥羽）

監督官になって辛かったことはなんですか？

- 労働者と使用者の間に挟まれ、厳しいことを言われることもあり、このようなときは辛さを感じることもありました。しかし、その中で物事を冷静に粛々と処理していくことが重要だと感じています。辛い場面、厳しい場面はありますが、その分確実に成長することができます。（寺山）
- 相談に対して思うように答えられず、労働者から強い言葉をかけられたときは、難しい仕事だなと感じました。（松岡）
- 監督官はあくまで労働基準関係法令に基づいて仕事をするため、監督官の権限では直接解決できない問題もあります。こうしたことに直面すると、やるせない気持ちになることもあります。（井上）
- 夏の建設現場や工場等での仕事が続くと、体力的に大変なときもあります。（鳥羽）



1 監督官の業務について

研修制度は充実していますか？

- 研修制度は非常に充実しています。特に栃木労働局は独自の研修が多く、安心して仕事に取り組みます。（井上）
- とても充実しています。採用後は厚生労働省本省主催の中央研修のほか、栃木労働局独自の研修もあり、かなり手厚い研修があります。その他、所属内でも上司や先輩が個別に研修をしてくれます。（辻）
- とても充実していると思います。栃木県は幅広い業種の事業場があるため、労働時間や賃金の支払いに関する労働基準系の問題にかかる研修だけでなく、働く方の安全や健康に関する安全衛生系の研修もあり、工場や建設現場での安全衛生管理の内容にも多く触れる機会が設けられています。仕事を始めて早い段階で一つでも多くの現場を見て学べるのは大きな強みであると思います。（鳥羽）

学生時代の経験は、仕事で役に立っていますか？

- 立場や事情の異なる多様な方々に接する仕事であるため、学生時代、様々なアルバイトを経験したことや、大学で法律や政治学などを学んだことを通じて多様な価値観に触れてきたことが、今の仕事に役に立っているのではと感じています。（松岡）
- 監督官として働く上で、様々な人とのコミュニケーションをうまくとることが重要です。その点において、学生時代に母校の野球部のコーチとして選手や監督、顧問等さまざまな人と接し、対話した経験は、現在につながっていると感じております。（井上）
- 私は学生時代に様々なバックグラウンドを持つ人と共同生活をした経験が役に立っていると感じます。監督官という仕事をするにあたっては無駄な経験などないと思います。（寺山）
- 学生時代は観光学部に所属していました。フィールドワークを通して様々な人にインタビューをしていましたが、当時の「初対面の方から話を聞く」という経験が役に立っていると思います。（辻）
- 私は法学部出身なのですが、監督官の仕事は法律を扱う仕事なので、法律の読み方にあらかじめ慣れていたことは仕事をするうえでとても役に立ったと感じています。ただ、法学部出身でない方についても、研修でしっかりフォローしてもらえるので心配することはないです。（鳥羽）





1 監督官の業務について

職場の雰囲気はどうか？先輩や上司は話しやすいですか？

- 職場の雰囲気は非常に良いです。相談対応などでわからないことがあれば先輩や上司に気軽に相談して、納得するまで丁寧に教えてもらえます。（井上）
- 非常に風通しの良い職場です。新卒・中途採用を問わず新人に対して非常に丁寧に指導していただけます。先輩・上司も様々なキャラクターの方がいらっしゃいますが、どの方も相談しやすいです。（寺山）

監督指導は一人で実施するのですか？

- いわゆる「新監」と呼ばれる採用1年目については、一人では監督指導を実施しません。2年目以降は、企業の規模等にもよりますが、一人で実施することがあります。（辻）
- 新人のうち先輩に同行して監督指導の方法を学びます。また、2年目になり一人で監督を行うことができるようになってからもチームを組んで行う監督などもあります。（寺山）

仕事で車に乗ることは多いですか？運転歴は？

- 遠方の用務先に外勤をする場合、基本的に車でいきます。運転歴は約5年です。（井上）
- 車を運転することは多いと思います。運転歴は10年です。ただし、車の運転が苦手な方でも研修を受けることができますのでご安心ください。（寺山）
- 外勤は殆ど車移動です。私は働き始める前まではほぼペーパードライバーでしたが、徐々に運転に慣れてきました。（松岡）

仕事で中はどのような服装をしていますか？

- スーツや作業着です。夏の暑い時期はクールビズ期間になっているので軽装で勤務しています。（井上）
- 署内に居るときは、オフィスカジュアルといわれるような格好をしています。工場等に行く際は、支給の作業着と安全靴に着替えます。（松岡）
- 女性は、オフィスカジュアルのような方が多いと思います。監督に行く場合には、支給されている作業着を着用します。（鳥羽）





2 ワークライフバランスについて

普段の残業時間は何時くらいですか？休日出勤することはありますか？

- 自分は残業、休日出勤ともにありません。年齢の近い先輩は、業務が忙しい時には残業をしていますが、基本的には定時に帰っています。休日出勤もほとんどしていないと思います。（井上）
- 1年目の職員は、残業はほぼ無いです。休日出勤も無いです。同じ職場の先輩は必要に応じて残業をしているようではありますが、休日出勤は殆ど無いと思います。（松岡）
- 1ヵ月の残業時間は、2時間程度です。今のところ休日出勤はありません。先輩や上司については、1ヵ月の残業時間は多くて20時間程度で、休日出勤についてはありません。（辻）
- 私は1年目ということもあり、残業をするのは月に1, 2回程度です。休日出勤することはありません。周囲の先輩方の残業時間は、受け持っている事案の内容・時期にもよりますが、概ね月10時間程度のようなようです。（鳥羽）
- 残業時間はほぼありません。休日出勤したことはありません。（寺山）

有給休暇は取得しやすいですか？ちゃんと取得できていますか？

- 自分の仕事で同僚や上司に迷惑をかけないことが前提ですが、自分の好きな日、好きな時間に取得することができます。私は月に1回を目安に取得しています。（井上）
- 取得しやすく、ほぼ月1回は取得しています。（松岡）
- 有給休暇を取得しやすい環境を整備するよう民間企業へ指導する立場でもあることから、取得しやすい雰囲気です。私自身も毎月1日は取得できており、GWや夏季休暇に合わせて比較的長期の休暇取得もできています。（辻）
- 有給休暇はとても取得しやすい環境が整っていると思います。私は、毎月1回以上は取得しています。周囲の上司や先輩方も、毎月1回以上取得している方が多いです。（鳥羽）
- 有給休暇は非常に取得しやすいです。気兼ねなく取得することができます。前職と比較しても非常に取得しやすいと思います。（寺山）





2 ワークライフバランスについて

休日は何をして過ごしていますか？

- 家事、トレーニング、ドライブ等をして過ごしています。晴れた日にするドライブは最高に気持ちいいです。（井上）
- 友人と出かけたり、運動をしたり、家で過ごしたりしています。（松岡）
- 私は神戸出身なので、これまであまりなじみのなかった東京や神奈川、茨城など関東圏に出かけています。青春18きっぷの時期には東北地方まで足を延ばすこともあります。（辻）
- 家事をまとめてすることが多いです。（鳥羽）
- 休日は釣りをしたりジムで体を鍛えたりしています。今度は友人と一緒にキャンプに挑戦する予定です。（寺山）





3 福利厚生、生活環境

どこに住んでいますか？通勤方法や通勤時間はどれくらいですか？

- 職場から車で10分くらいの場所に住んでいます。車で通勤しています。（井上）
- 実家のある県外から電車通勤しており、通勤時間は約1時間です。（松岡）
- 宇都宮市内の公務員宿舎に住んでいます。自転車で通勤しており、職場まで20分ほどです。（辻）
- 職場から徒歩十分程度の場所に住んでいます。通勤時間は往復20分かからない程度です。（鳥羽）
- 自転車で最寄の宇都宮駅まで行き、その後は電車で通勤しています。通勤時間はドアtoドアで1時間半ですが、慣れればなんてことはありません。（寺山）

公務員宿舎の状況はどうですか？

- 公務員宿舎は値段が安く、私のように遠方から赴任する場合はうってつけだと思います。引っ越しに必要な費用は、原則全額が支給されます。（辻）

栃木の気候はどうですか？

- 夏は夕方から夜にかけて雨が降る日が多い印象があります。（井上）
- 夏は雷雨などが多い印象ですが、全体的には東京都と変わりません。今のところ雪も少なく過ごしやすいと思います。（寺山）
- 夏場は暑い日が多いかもしれませんが、晴れの日が多く比較的住みやすいと思います。（鳥羽）





3 福利厚生、生活環境

栃木労働局で勤務してよかったと感じたことはどんなことですか？

- 栃木労働局独自の研修が充実していること、産業のバランスがよいため様々な業務を経験できること、適切な仕事量であること、車通勤ができること等です。（井上）
- 研修が手厚く、人も穏やかで働きやすい環境だと思います。（辻）
- 研修が豊富なのでありがたいです。また、個人的には、栃木県はペーパードライバーの自分でも運転がしやすい環境なのではと感じています。（松岡）

栃木県の生活で感じる魅力はありますか？

- 栃木県は都会過ぎず、かといって田舎過ぎないため非常に住みやすいです。不便に感じることは1つもありません。安心して栃木県に来てください。（井上）
- 県内に新幹線の駅があるほか、東北自動車道もあり交通の便が良い点です。宇都宮市内に限れば、平地なので自転車でも移動しやすいです。（辻）
- 宇都宮では利便性に優れた生活を送ることもできます。また、少し足をのばせば豊かな自然が広がっており、様々なアクティビティを楽しめます。（寺山）
- 人が多すぎず、少なすぎず、生活がしやすいことです。（鳥羽）





4 公務員試験、採用

公務員の志望動機、監督官の志望動機は何ですか？

- 家族の勤務先で給料が払われないことがあったことで「労働問題は意外と身近にある」と感じ、監督官の仕事に興味を持ち始め、監督官を志望しました。（松岡）
- 「働く」ということは、生活していくうえで欠かせない行為です。アルバイト時代に賃金の不払いに遭った経験から、「働く人」の労働環境を直接守ることのできる監督官という職業に魅力を感じたため志望しました。（鳥羽）
- 私は前職も公務員だったのですが、前職で労働問題に関する相談を多く受けていました。前職では労働相談を受けても監督署を案内することしかできず、自分自身も労働条件の改善に携わりたいと感じて志望しました。（辻）
- 私は、前職時代に月に150時間弱の長時間労働を経験し体調を崩しかけた経験がありました。この経験を活かして、労使の中間に立ち労働環境を改善したいと思い監督官を志願しました。（寺山）
- 労働問題のスペシャリストとして働けること、法律に基づいて仕事ができること、県ごとの採用であることが魅力で監督官を志望しました。（井上）





4 公務員試験、採用



どのように受験対策をしましたか？

- 予備校で講義を受け、その後は過去問演習を繰り返しました。たまにテキストを読んで全体像を確認していました。面接対策は、労働局のホームページやYouTubeチャンネルで監督官の仕事内容を勉強したうえで、模擬面接を複数回しました。面接時には自分なりに監督官の適性があることをアピールし、一緒に働きたいと思ってもらえるような受け答えを心掛けました。（井上）
- 独学です。筆記試験対策は特に数的推理、時事、憲法、行政法、民法、経済原論、労働法に力を入れて勉強していました。面接対策は、YouTubeを活用していました。面接では、前職で経験した業務や身につけたスキルを整理し、監督官の業務で活かせるようなものを整理し、「監督官になりたい。」という想いが伝わるように意識しました。（辻）
- 前職時代の通勤時間や仕事の休憩時間など隙間時間を見つけて勉強しました。（寺山）
- 過去問とその解説が載っている参考書を買って勉強しました。（松岡）
- ひたすら過去問や問題集を解き、間違えた箇所を繰り返し復習して勉強していました。面接については、話すスピードや表情を意識しながら友人と練習を重ねていました。（鳥羽）



4 公務員試験、採用

監督官とほかの公務員との違いは何でしょうか？

- 監督官は労働基準行政の最前線として国民と多く接しながら仕事を行うことができます。（井上）
- 労働問題を専門的に扱い、この解決に向けて対応できる点だと思います。法律を基に労働者が働きやすい環境を整備するよう、指導を通して企業に働きかけをしていくこと、事業場へ立ち入る権限と強制捜査や書類送検など司法警察権があることが他の公務員との違いだと思います。（辻）
- 事業主への指導を行うにあたって、一定の裁量を与えられているところだと思います。前職での自分の仕事はすべてにおいて伺いを立てる必要があり、自分の裁量を挟む余地がありませんでしたが、監督官の仕事は日程の調整や進め方などある程度自分の裁量をもって行うことができますし、事業主や労働者に対する対応は自分の個性、人間力を使って勝負することができます。また、外勤も多く様々な事業所を見ることができ、仕事も決して単調ではありません。（寺山）
- 監督官は専門性が高く、広範で深い知識が求められやりがいを実感しやすいことです。また、ほかの国家公務員の仕事と比べると、監督官の仕事は国民（労使双方）に接する機会が比較的多いのではないかと思います。（松岡）
- 監督官は労働行政を主に取り扱っており、会社を臨検し、労働条件及び安全衛生について会社を監督する権限を持っているという点が、ほかの国家公務員と違う点であると思います。（鳥羽）





4 公務員試験、採用

県外出身者ですが大丈夫でしょうか？

- 問題ありません。私も採用される以前は観光でしか栃木県に来たことはありませんでしたが、今は充実した栃木ライフを送っています。(井上)
- 私は県外出身者ですが問題なく働いています。栃木に縁もゆかりもなくとも大丈夫です。労働局を選択する際は研修制度や雰囲気重視すべきだと思います。(寺山)
- 大丈夫です。私自身も県外出身者ですし、県外出身者は多くいます。(鳥羽)

20代後半でも採用されますか？

- 私は28歳で採用されましたが、年齢は関係ないと思います。労働基準監督官への熱意と自分の強みをアピールできれば良いのではないのでしょうか。(寺山)
- 20代後半の同期もいますので、特に年齢が問題になることはないのではないかと思います。(松岡)

社会人からの転職は大丈夫ですか？採用後の処遇や昇進の差はありますか？

- 大丈夫です。自分の場合は前職の経験や知識が活かせる場面も多々あります。昇進については、年齢が上である分、新卒の同期より早いと聞いたことがあります。(辻)
- 社会人からの転職でも全く問題ありません。集合研修でも途中で採用された同期に多く出会います。採用後は社会人経験に応じて給与加算があります。(寺山)





4 公務員試験、採用

仕事を始めるまでの間にやっておいたほうが良いことはありますか？

- 社会人になると友人と休みが合わなくなったり、住む場所が離れてしまったりするので、今のうちに友人との思い出をたくさん作っておくのがよいと思います。（井上）
- 法律など労働基準監督官に必要な知識は研修で身に付けられるので大丈夫だと思います。時間があれば、Excelやマクロを勉強していると、事務処理が速くなると思います。（辻）
- 絶対にやらなければならないというものはありません。実務を通じて知識を吸収していけば大丈夫です。社会人になるとまとまった時間がとることが難しくなるので一人旅など今しかできないことに時間を使うべきだと思います。（寺山）
- 今の生活を存分に充実させることが一番だと思います。（松岡）
- 労働行政の現状について、少しでもアンテナを張っておくと良いと思います。（鳥羽）

女性にも働きやすい職場、仕事なのでしょうか

- 同期や先輩方に女性職員は多くいます。ワークライフバランスの実現にも力を入れているので、働きやすい環境だと思います。（辻）
- 女性にとっても働きやすい職場だと思います。全国の同期にも多くの女性職員がいます。（寺山）
- 女性の先輩がメンターという立場で日常的な声掛けや定期的な面談などをしてくださるため、仕事上の不安についてフォローをしてもらえます。（松岡）
- 女性でも働きやすい職場だと思います。妊娠や出産、子育てについてもフォローできる体制がしっかりしているため、仕事が続けやすい職場であると感じています。（鳥羽）